

令和5年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国が進める地域共生社会とは、「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

この地域共生社会では、地域力の強化と包括的な支援体制の整備が不可欠となっておりますが、これは専門職による伴走支援だけでなく、より身近な地域における住民同士の日頃の見守りが、社会との継続的なつながりになると言われています。

「感染防止」と「社会福祉活動維持」の両立を目指すことを基本的な考え方とし、地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の継続・推進を図ります。一昨年度から実施している災害ボランティア活動に対する啓発や平時から様々なネットワークとの関係の構築を図ります。

令和4年5月に開設した児童発達支援センターでは、地域連携、地域ネットワークの中核機関として発達の気になるお子さん、育てにくいお子さんなどが適切な支援を受けられるよう、関係機関等と連携を図りながら重層的に支援を行います。

日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援を行うとともに成年後見制度での法人後見にも取り組んでいきます。

また、社協の事業の経営環境や状況が年々厳しさを増すなか、自主事業である介護・障害福祉サービスを経営する意義を確認しながら、経営基盤の強化に努めます。

これらから、地域共生社会の実現にむけて「協働の中核」を担う存在になれるよう、社協の総合力の向上と組織・事業基盤の強化にむけて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 災害ボランティア活動の啓発
5. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
6. 児童発達支援センターの充実
7. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)
8. 成年後見制度事業の実施(法人後見事業)



収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,295,000	支 出	人件費支出	395,567,000
	寄付金収入	49,000		事業費支出	102,138,000
	経常経費補助金収入	74,479,000		事務費支出	43,466,000
	受託金収入	37,513,000		就労支援事業費支出	4,105,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	541,000		助成金支出	463,000
	介護保険事業収入	303,665,000		固定資産取得支出	878,000
	就労支援事業収入	4,105,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	102,444,000		積立資産支出	1,000
	その他の事業収入	48,000		その他の活動による支出	16,376,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	1,784,000			
	その他の活動による収入	8,170,000			
	収入合計	537,605,000		支出合計	564,180,000
		当期資金収支差額	△ 26,575,000		